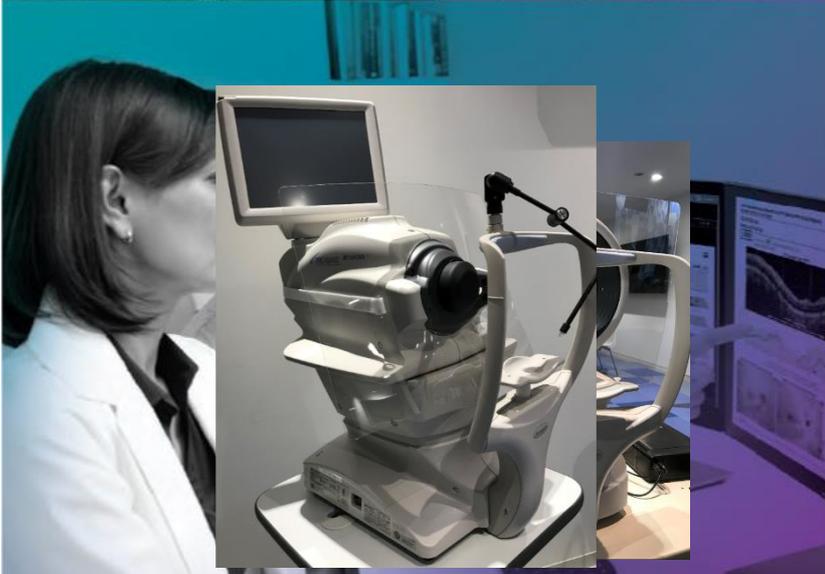




Topcon Cares Guide for the Disinfection of Topcon Eyecare Products

－ 機器本体クリーニング

－ 機器プレスシールド



－ 機器本体クリーニングにつきまして －

推奨の溶剤	
消毒用エタノール（消毒用エタノール同等の工業用 77%エタノール）	
次亜塩素酸水（商品名：ジアクリア）	
消毒・除菌が必要とされる想定箇所	
想定箇所	材質
額当て	シリコンゴム
本体カバー部	ABS 樹脂
あご受け	ABS 樹脂
あご受け紙固定ピン	ポリアミド樹脂
タッチパネル部	ガラス（表面コートあり）
ノンコンズルユニット（眼圧測定窓・測定ノズル・内部ガラス）	－

－ 機器プレスシールド－

（税抜）

機種	標準価格
OCT シリーズ（Triton、Maestro、Maestro2、OCT-2000）	¥ 5,000
ノンコンタクトノメーター（CT-1/P、CT-800/A、CT-90A）	
オートケラトレフラクトメーター・ウェーブフロント（KR-1/1W/800A/800PA）	
眼底カメラ（TRC-50DX/NW7/NW8/NW300/NW400）	
その他機種（SP-1P/TRK-2P）	
スリット、レーザー治療機器	無償



（Triton）

（スリット）



（CT-1P）



ノンコンタクトトノメーター日常清掃方法（取扱説明書抜粋）

- ・測定窓ガラスにゴミやホコリが付いた時... ブロアーでゴミ・ホコリを吹き飛ばしてください。
- ・測定窓ガラスに指紋や油が付いた時... ブロアーでゴミ・ホコリを吹き飛ばし、清潔なガーゼにカメラレンズクリーナーを少し付け、軽く拭き取ります。
- ・カバーが汚れた時... 付属のフィルター布又は乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン・シンナーや化学雑巾は使用しないでください。

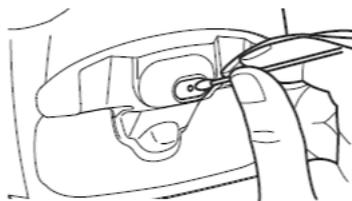
測定窓ガラスのクリーニング

- ・測定窓ガラスが汚れるとオートアライメントしなくなったり、正しい測定値が得られなくなることがあります。1日の使用が終了したら、測定窓ガラスのクリーニングを行ってください。
- ・コントロールパネル画面に“CLEAN THE MEASURING WINDOW GLASS”と表示された場合もクリーニングを行ってください。

 注意	測定窓ガラスと測定ノズル及び測定ノズル内部のガラスの清掃には、エチルアルコールを使用すること。それ以外の薬品類を使用すると、測定時に薬品類が被検者の目に入り、目を痛める恐れがあります。
---	--

 ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニングの際は、測定ノズルに負荷をかけないようにしてください。 ・測定ノズルから綿棒を抜き取る際は、綿棒の綿が内部に残らないようにしてください。故障の原因となります。 ・必ず付属している専用の細い綿棒を使用してください。
--	---

- 1 エチルアルコールを準備します。
- 2 ブロアーでガラス表面のゴミやホコリを吹き払います。
- 3 綿棒にエチルアルコールを染み込ませます。
- 4 綿棒でガラス面の中心から外側に向けて渦巻状に軽くふきます。



ガラス面の拭き方

- 5 綿棒を交換して、数回繰り返します。

 ノート	必ず新しい綿棒に交換して清掃作業を繰り返してください。油分が測定窓ガラスからきれいに除去できます。
--	---

- 6 油分がきれいにふき取れたら完了です。
汚れが落ちにくい場合は、お求めの代理店または裏表紙の問い合わせ先にご連絡ください。

 ノート	測定窓ガラスが汚れてくると使用中にコントロールパネル画面に“CLEAN THE MEASURING WINDOW GLASS”と表示されます。
--	---

ノズル及びノズル内部の窓ガラスのクリーニング

- ・測定ノズル及びその周辺に異物が付着していると、測定時に異物が被検者の目に入り、目を痛める恐れがあります。異物が付着していたら測定ノズルのクリーニングを行ってください。
- ・測定ノズル内部のガラスが汚れると固視標が見にくくなり、オートアライメントしなくなったり正しい測定値が得られなくなることがあります。固視標が見にくくなったり、() 付測定値が多くなったら測定ノズル内部のガラスのクリーニングを行ってください。
- ・コントロールパネル画面に“CLEAN INSIDE NOZZLE/GLASS”と表示された場合もクリーニングを行ってください。

 注意	測定窓ガラスと測定ノズル及び測定ノズル内部のガラスの清掃には、エチルアルコールを使用すること。それ以外の薬品類を使用すると、測定時に薬品類が被検者の目に入り、目を痛める恐れがあります。
---	--

 ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニングの際は、測定ノズルに負荷をかけないようにしてください。 ・測定ノズルから綿棒を抜き取る際は、綿棒の綿が内部に残らないようにしてください。故障の原因となります。 ・必ず付属している専用の細い綿棒を使用してください。
--	---

- 1 エチルアルコールを準備します。
- 2 付属の細い綿棒にエチルアルコールを軽く染み込ませます。
- 3 測定ノズル内に綿棒を挿入し、内部のガラスに軽く突き当て2～3回綿棒を回転させてください。



- 4 綿棒を交換して、2、3度繰り返します。

 ノート	1度使用した綿棒は、油分を含んでいますので、そのまま使用すると油分が拡散されるだけで光の透過量は増加しません。クリーニングの都度綿棒を交換してください。
--	--

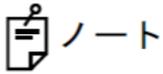
- 5 固視標がきれいに見えるようになったら完了です。汚れが落ちにくい場合は、お求めの代理店または裏表紙の問い合わせ先にご連絡ください。

 ノート	測定ノズル内部のガラスが汚れてくると固視標が見えにくくなります。また、使用中にコントロールパネル画面に“CLEAN INSIDE NOZZLE/GLASS”と表示されます。
--	--

被検者と接触する部分の清掃

- ・額当て及びあご受け部が汚れた時 食器用中性洗剤をぬるま湯に溶き、それを染み込ませた布をかたく絞って拭いてください。

眼底カメラ対物レンズ日常清掃方法（取扱説明書抜粋）



ノート

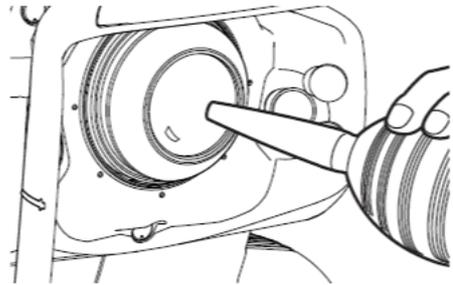
- 推奨するクリーニングペーパーは、コットンシーガルになります。
- 次の行為は対物レンズに傷がつく恐れがあるため、お止めください。
 - ブロワーでホコリやゴミを取り除かずに、いきなり拭き作業を行う。
 - 腕時計や指輪などを外さずに拭き作業を行う。
 - クリーニングペーパーによる乾拭き。
 - 棒状のものにクリーニングペーパーを巻いて拭く。
 - 爪を立てて拭く。
 - ブロワーの先端を対物レンズに接触させる。
- ホコリを息で吹き飛ばすことはしないでください。
唾液からの水滴が対物レンズ表面に付着する恐れがあります。
- 対物レンズの中心部に拭き残りがあると、眼底撮影画像に影響が出ます。
- 汚れが落ちない場合には、販売代理店にご連絡ください。

汚れを確認するために、室内を暗くして、対物レンズに懐中電灯などで光を当て、対物レンズを斜め前方からのぞき込み、汚れを確認します。

表面にホコリやゴミが付いている場合

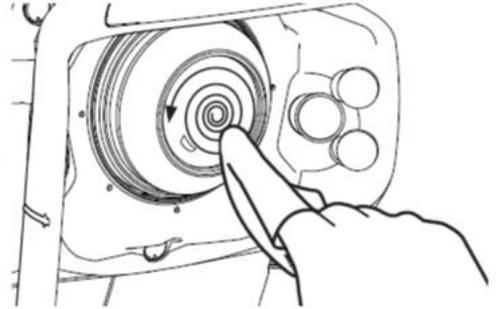
1 ブロワーでホコリやゴミを吹き払ってください。

* ブロワーで落ちない汚れで、眼底撮影画像に影響が出ている状態に限り、下記手順により拭き作業を行ってください。汚れが容易に落ちない場合、無理をせずに販売代理店にご連絡ください。



涙液や指紋などブローアードで取れない汚れの場合

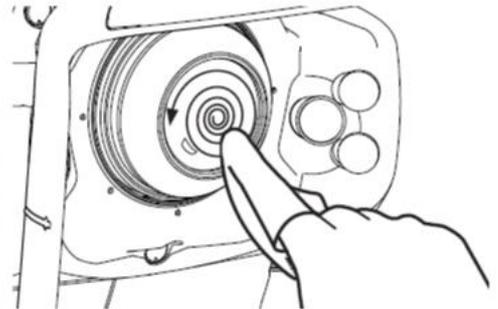
- 1 ブローアードでホコリやゴミを吹き払ってください。
- 2 指に巻き付けたクリーニングペーパー（コットンシーガル^{*1}）に指定のレンズクリーナー（SH-11 又はハイパークリーン 6310^{*2}）を染み込ませ、対物レンズの中心を加圧しながらゆっくりと外側に円を描くようにして対物レンズの表面のホコリやゴミを取り除いていきます。
- 3 クリーニングペーパーを新品と交換して、汚れが取り除けるまで行います。
- 4 レンズの隅は、尖らせるように折りたたんだクリーニングペーパーの先端で拭いてください。



- ※1：コットンシーガル（製造元：千代田株式会社）
※2：TP クリーナー（お問い合わせ先：トプコンメディカルジャパン
SH-11（製造元：北港化学株式会社）
ハイパークリーン 310（製造元：岳南化学株式会社）

涙液や指紋などブローアードで取れない汚れの場合

- 1 ブローアードでホコリやゴミを吹き払ってください。
- 2 指に巻き付けたクリーニングペーパー（コットンシーガル^{*1}）に指定のレンズクリーナー（SH-11 又はハイパークリーン 6310^{*2}）を染み込ませ、対物レンズの中心を加圧しながらゆっくりと外側に円を描くようにして対物レンズの表面のホコリやゴミを取り除いていきます。
- 3 クリーニングペーパーを新品と交換して、汚れが取り除けるまで行います。
- 4 レンズの隅は、尖らせるように折りたたんだクリーニングペーパーの先端で拭いてください。



- ※1：コットンシーガル（製造元：千代田株式会社）
※2：TP クリーナー（お問い合わせ先：トプコンメディカルジャパン
SH-11（製造元：北港化学株式会社）
ハイパークリーン 310（製造元：岳南化学株式会社）